

議会だより やまもと

Vol. 187
令和2年2月1日発行



剣道 寒稽古に励む子どもたち

第4回定例会

会期12月6日
～12月13日

- 第4回定例会 P2～6
議案審議の内容と結果
- 一般質問 P7～13
議員7名が町政を問う
- 委員会報告 P14
閉会中の調査結果
- 会議等出欠状況 P15
議員の活動状況

早い災害復旧を

災害から早期復旧を目指して～



補正予算概要

一般会計予算においては、ふるさと納税の寄付実績が想定を上回ったことによる上方修正をはじめ、国・県補助事業の確定に伴う精算、台風19号及び10月25日の大雨により損壊した道路・河川等の災害復旧工事等に係る経費、また、人事院勧告等に伴う人件費等の増額分を予算化しました。

主な補正予算事業

- ふるさと納税に係る事業（返礼品・委託料）…………… 1920万円
- 担い手づくり総合支援事業…………… 569万円
- 排水路堆積土砂浚渫事業…………… 550万円
- 公共土木施設単独災害復旧事業…………… 8280万円
- 公共土木施設補助災害復旧事業…………… 2億7000万円
- 農業施設単独災害復旧事業…………… 6700万円

令和元年度 各種会計補正予算一覧表

(単位：千円)

会計名	補正額(12月)	合計額
一般会計	330,602	12,381,561
国民健康保険事業特別会計	2,445	1,825,449
後期高齢者医療特別会計	—	169,849
介護保険事業特別会計	1,898	1,495,282
巨理地域介護認定審査会特別会計	—	7,387
水道事業会計	264	601,731
下水道事業会計	1,460	1,128,528

○定例会概要
 第4回定例会は、12月6日から13日までの8日間の日程で開催され、町長提出議案等25件（報告4件、承認1件、条例8件、補正予算5件、その他7件）を審議し原案通り可決しました。
 一般質問では、災害復旧等町政全般にわたり7人の議員が町長の考えをただしました。



台風19号被害箇所



一刻も

～台風19号及び10月25日の大雨



○補正予算の主な質疑

ふるさと納税の増額内訳

議員 ふるさと納税の支出想定件数は。

課長 5800件で想定している。

議員 全体で5800件ということか。

課長 当初は、3100件で想定したが、大幅な増額が見込まれ、2700件程度増えると考えている。

議員 活用にあたっては、内容を精査すべきである。

農業振興費の補助

議員 担い手農業の補助金が569万円は、何件で何人か。

課長 1件で、施設整備と農機具の購入に補助した。

議員 担い手が非常に少なく、今後は法人だけでなく、個人にも支援を充実する考えはないか。

課長 国の補助金のため、対象者が限定される。

議員 農業に従事した人に対し、町独自で支援する考えはないか。

課長 国の制度である人材育成資金、農地準備資金、運営資金等を活用し、それを補完する形で町も支援策を考えている。

議員 起業希望者が増えているので、少しでも支援をする考えはないか。

いか。
町長 支援策を積極的に講じていきたい。

戸花山遺跡発掘調査

議員 業務委託経費5千万円が増額されているが、新浜諏訪原線の関連事業と受け止め

てよいのか。
課長 そのとおりである。



戸花山遺跡発掘調査

議員 現時点で、事業費はどの程度膨れ上がっているのか。
課長 13億3500万円に変更はない。
議員 その中に、増額された5千万円も含まれているのか。
課長 そのとおりである。

◇◇おめでとうございます◇◇

「文化の日」県知事表彰

地方自治功労 **齋藤 慶治 氏**

元 議会議員（議員歴：20年6カ月）

長年の議員活動の功績を称えられ表彰されました。



議案第85号 **可決**

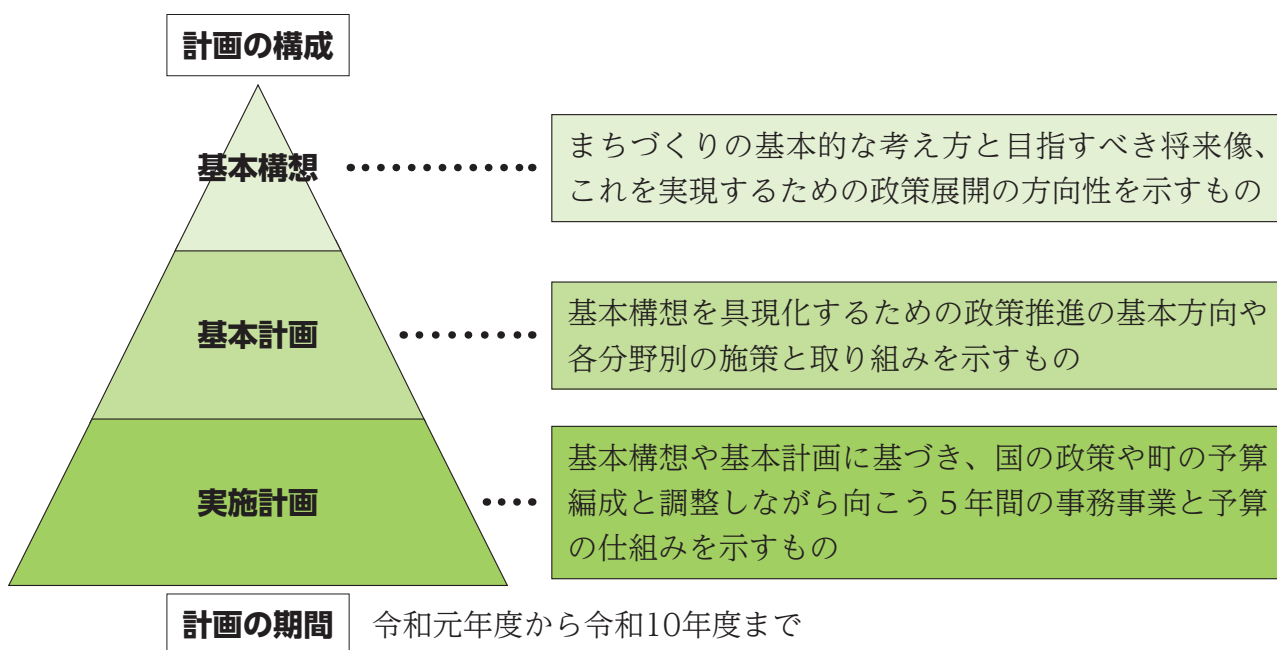
第6次山元町総合計画

◇総合計画とは

総合計画の策定は、町の総合的かつ計画的な行政の運営を図ることを目的として策定されます。

これまでは、第5次山元町総合計画を兼ねた山元町震災復興計画に基づき創造的な復興を目指し各種事業に取り組んできました。

今後は、町の現況と課題に向き合い、持続可能なまちづくりを進める必要があり、町の将来の姿を見据えたまちづくりの指針となる第6次山元町総合計画を作成するものです。



◇主な質疑

策定経緯

議員 策定にあたり、どの程度の議論や検討を重ねたのか。

課長 昨年度から計画作成に着手し、本議会、専門部会、検討部会を計23回実施した。その素案を、町民代表者や有識者で構成する審議会で繰り返し検討してきた。

実施計画
議員 実施計画を年度末までに提案するとの

ことだが、具体的にはどの時期を考えているのか。

課長 これから来年度予算の編成作業に入り、2月には固まる。その後令和5年までの取り組みを作成し示すこととなる。

議員 来年度予算に、当初1年分の事業やその予算を具体的に明示できるのか。

課長 実施計画の内容等は確定していないが、1年目の事業や予算は検討していく。





数値目標

議員 交流人口の目標値は高く掲げて、希望の持てるものにしていくべきではないか。

町長 まず100万人をしっかりと定着させることが大切と考えている。

議員 出生率や定住促進の目標値をより高く設定しては。

町長 計画であるため、これまでの流れや実績を見据えて出す必要がある。

津波防災区域

議員 津波防災区域の記載はないが。

課長 令和3年度以降

に津波新法に基づく県のシミュレーションにより、検討する。

バランスあるまちづくり

議員 町全体のバランスある発展を心がけているのか。

課長 町民が新市街地の利便性、快適性を享受できるように考えている。

議員 均衡あるまちづくりが大前提ではないか。

町長 人口減少社会の中、周辺の行政区や地域にも及ぶようなネットワーク化を図ることが今後のまちづくりの方向性であると考えている。

◇ その他の議案

■■ 契 約 ■■ (議案第88号)

名 称	入札率	金額(税込み)	契約先	工 期
(仮称) 新浜諏訪原線道路改良工事	84.96%	4億304万円	村本建設株式会社 東北支店(仙台市)	令和2年3月31日

改正内容

名称

改正前
やすらぎ作業所



改正後
やすらぎ

施行期日

令和2年4月1日

○山元町障害者地域活動支援センター「やすらぎ作業所」の名称変更(議案第84号)
山元町障害者地域活動支援センター条例の一部を改正するもの。

改正内容

登録資格の除外規定

改正前
成年被後見人



改正後
意思能力を有しない者

施行期日

令和元年12月14日

○山元町印鑑の登録及び証明(議案第83号)
「成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行に伴い、条例の一部を改正するもの。

■■ 条例一部改正 ■■

○令和元年 第4回定例会 議案等の審議結果

議案番号	事 件 名	結 果
報告第13号	専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更）※坂元合同庁舎解体工事	報 告
報告第14号	専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更）※東部地区非農用地造成工事	
報告第15号	専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更）※山下浅生原線道路改良工事	
報告第16号	専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更）※旧中浜小メモリアル広場整備工事	
承認第 5号	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度山元町一般会計補正予算・専決第2号）※台風・大雨による災害廃棄物撤去等経費	承 認
議案第77号	山元町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可 決 (全員賛成)
議案第78号	山元町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	
議案第79号	山元町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	
議案第80号	山元町職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例	
議案第81号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	
議案第82号	山元町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	
議案第83号	山元町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例 【P5に掲載】	
議案第84号	山元町障害者地域活動支援センター条例の一部を改正する条例 【P5に掲載】	
議案第85号	第6次山元町総合計画について 【P4・5に掲載】	
議案第86号	平成31年度 漁復1号 漁港環境施設整備工事請負契約の変更について	
議案第87号	平成31年度 復興交付金事業 旧中浜小学校震災遺構保存整備工事請負契約の変更について	
議案第88号	令和元年度 社総交（復興）請6号（仮称）新浜諏訪原線道路改良工事請負契約の締結について 【P5に掲載】	
議案第89号	公の施設の指定管理者の指定について ※障害者地域活動支援センター「やすらぎ」	
議案第90号	公の施設の指定管理者の指定について ※共同作業所	
議案第91号	公の施設の指定管理者の指定について ※デイサービスセンター「知楽荘」	
議案第92号	令和元年度山元町一般会計補正予算（第3号）	
議案第93号	令和元年度山元町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	
議案第94号	令和元年度山元町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	
議案第95号	令和元年度山元町水道事業会計補正予算（第2号）	
議案第96号	令和元年度山元町下水道事業会計補正予算（第2号）	

○陳情の受理

陳情番号	件 名	陳情者の氏名	結 果
陳情第 9号	学校教材の計画的な整備推進についてお願い	一般社団法人 日本教材備品協会 会長 大久保 昇	配布のみ
陳情第10号	「次の世代へつなぐ まちづくり」に関する陳情書	高橋 晋	
陳情第11号	ライドシェア反対、地域公共交通の充実を求める意見書採択の要請	自交総連東北地方連合会 執行委員長 本間 昭	
陳情第12号	令和2年度山元町補助金要望書	巨理山元商工会 会長 門澤 俊夫	
陳情第13号	令和2年度地域商業活性化事業補助金の要望について（お願い）	山元町商業協同組合 理事長 森 輝雄	

台風19号と排水対策は

町長 降雨時の対策は最重要課題のひとつ

議員 今回の台風19号により坂元川は決壊寸前だった。堤防の半分は崩れてしまい危険な状況にある。早急に復旧すべきでは。

町長 すでに復旧工事に着手しており、2月末には完成する見込みである。

議員 町・下郷区は、これまで幾度も道路が冠水し住宅の浸水を繰り返している。強制的な排水対策を講ずるべきでは。

町長 この地区の降水

時の排水対策は、重要課題の一つと認識している。今回、下郷区の

南西部から流入していた雨水を、ゲート操作により坂元川へ排水する対策を講じた。また、一昨年に谷地川排水路の改修と谷地排水

機場の南側に調整池を増設している。



たけうち かずひこ 議員
竹内 和彦

交流人口の拡大と地域の活性化は

町長 消滅可能性自治体の払拭になる

議員 産直施設は、これから交流拠点としてどう役割を果たしていくのか。

町長 町の名所や観光スポットなどの紹介を行う総合案内所の機能を備えた施設である。今後も情報発信の基地局として四季折々のイベントや町内に点在する地域資源をつなぎ、交流人口100万人達成の拠点としての役割を果たしていく。

議員 いちご狩りはすでに有名になっていく。一昨年は体験型観光としていちご狩りに10万人が来ている。産直施設も体験型観光にもっと目を向けてはどうか。

町長 体験型観光をはじめとする観光施設は、人を呼び込むため有効であり、交流人口の拡大と地域の活性化に大きく寄与すると認識している。
議員 体験型観光は農

家の協力と連携がなければ成り立たない。仮に果樹の観光農園であれば苗木を植えてから実を収穫するまで数年を要する。これを計画的に町で支援をして数年かけて体験型観光を町のブランドとして大きく育てていくべきでは。

町長 町全体として総意を取りまとめ、牽引するのも町の大きな役割である。

議員 近隣市町には宿泊施設や温泉施設があるが、当町には無い。

交流人口を拡大するには宿泊施設が必要不可欠では。

町長 宿泊施設間の競争は厳しい状況であり、しっかりと見極める必要がある。

議員 交流人口は今や100万人に手が届くところまできている。これをさらに後押しするのが宿泊施設ではないのか。

町長 取り組むには受け入れられる環境整備など一定の体制を整える必要がある。



にぎわう産直施設

排水路や排水機場の対策は十分か

町長 国の治水計画を注視し働きかける



伊藤 貞悦 議員

議員 安全・安心な町づくりの観点から、台風や集中豪雨対策について、居住地への浸水や排水等の心配はないか。

町長 今回の台風19号及び低気圧による大雨によって町内の居住地において一部床下浸水等の被害が発生した。これまでも堆積土砂の浚渫に努めてきたが、以前から課題とされてきた山寺川と鷺足川の合流部の改良を進めるとともに、排水断面の狭窄部の解消に向け、構造変更等を国や県に強く要望していく。
議員 排水路や排水機場の対策は十分か。

町長 戸花川以北の排水は全て牛橋河口から海へ放流してきたが、排水系統が長いいため、排水効率の悪化を招いた。現在、排水の効率化を図るため、農地整備事業山元東部地区において戸花川へ直接排水するための排水路と排水機場の整備を進めている。

議員 河川や排水路の拡幅と整備計画はないのか。

町長 河川、排水路は国道6号西側の普通河川と東側の農業用排水路とに分けられ、上下流一体となつて機能を果たしている。排水効率を高めるため、新たに総延長78キロメートルの水路網を整備する。さらに、農業用排水路の断面を台形断面から垂直断面に改修し断面積の確保をした。今後さらなる排水能力の向上を目的として、排水路の拡幅を実施す

る場合、農業用水路ではなく法河川として位置づける必要がある。その実現には、時間と費用の面で大変な困難を伴うものである。近年激甚化、頻発化している豪雨への対応策の必要性は認識している中で、単に元に戻す原形復旧だけでなく改良復旧の本格的な実現に向け鋭意取り組んでいく。また、国の治水計画の動向を注視し、強く働きかけていく。
議員 将来を見据えた町づくりを考える中で、「安全・安心」が最重要項目ではないか。一歩一歩着実に前進し実現すべきである。

その他の質問

再編される中学校の部活動対策について



山寺川と鷺足川の合流部

自助・共助・公助に向けた防災対策

町長 洪水等ハザードマップは今年配布

議員 今回の台風でも越水した浅生原区の新井田橋について、以前から架け替えの計画があるが。

町長 これまでも新井田橋付近では台風等の大雨時に越水被害が度々発生しており、改修の必要性を認識している。今後は橋梁設計、架け替えに伴う道路設計や流下断面の変化に伴う下流施設への検証等を行う必要がある。架け替えの実施までは補助事業等を模索しながら取り組んでいく。

議員 これまでの答弁や地元懇談会でも今後の対応には優先順位が高いと述べているが、信じてよいか。

町長 最重要課題の1カ所だと捉えている。**議員** 住民の避難行動には防災ハザードマップの認識と活用が重要性が指摘されている。本町では遅れている洪水・内水・土砂災害のハザードマップ作成を急いでほしいか。

一方、内水ハザードマップは作成する考えはないが、実際の浸水区域を合わせて表示するなど情報提供に努めていく。

議員 いつ、誰が、何をするかを時系列で整理しておく防災行動計画、タイムラインの作成推進を図る考えは。**町長** タイムラインを町として作成をし、それを皆さんで共有して早目の適切な避難行動に繋げるということに取り組んでいく必要があると考えている。



たかはしまりこ 高橋眞理子議員

議員 防災教育の一環として取り組む考えは。**教育長** 自分がどう動くべきかを時系列で整理することは、自分の命は自分で守ることにつながる。導入を図るよう進めていきたい。

大條家ゆかりの茶室の早期再建を

教育長 令和4年度頃に再建したい



町指定文化財「茶室」

議員 多くの地元住民から、茶室の修復再建を望む声がある。いつ頃を目途に考えているか。**教育長** 今年度、茶室だけでなく、蓑首城周辺一帯を含めた文化遺産の活用計画を取りまとめ、文化財保護委員会や整備活用検討委

員会で審議し、令和4年度頃までに茶室を再建したい。**議員** 町内外の茶道愛好家の場や新しいコミュニティの場として地域の活性化が図れ、「夢いちごの郷」と共に観光拠点となる重要な場になる。早期再建を求める。

病児・病後児保育の早期実現を

町長 広域的実現に向け取り組んでいく



わたなべちえみ 議員
渡邊千恵美議員

議員 家族全員の予防接種代の負担は大きい。高校受験を控えた中学3年生を対象としたインフルエンザワクチン予防接種費用の助成を前向きに検討すべきであると思うが、考えは。

町長 子育て世帯への負担軽減や本人に対する重症化予防対策として、実施している市町村の取り組みを参考にし、国、県の動向並びに郡医師会等、共通理解のもとに整合性を図りながら取り組む必要がある。

議員 「13歳前の子どもは2回接種する必要がある。その内の1回分を町で助成してもらえたらありがたい。」と言う病院の声もある。来年度への予算措置はできないか。

町長 来年度についての言及は控える。医療に関する部分は、巨理郡医師会と連携調整が必要であり、共通理解のもとに取り組んでいく。

議員 病児・病後児保育が必要だと以前にも質問したが、改めて考えを伺う。

町長 病児保育のニーズがあることを再確認し必要性を認識した。巨理町や、巨理郡医師会と連携協力を図りながら、広域的な病児保育の実施に向け検討し、今後必要な予算を計上し、実現に向けて取り組んでいく。

議員 前向きな回答をいただいたが、町内にも必要である。医療機関と連携、地域の社会資源の活用によるファミ

ミリーサポートセンターでの病児、病後児保育が可能かを調査し、可能であれば前向きに検討する必要があると思うが。

課長 国の基準である保育士、看護師を常駐で配置というところで検討し、保護者も安心して預けられ、また利用人数が多い時と少ない時もあることから、巨理町と連携する形が今のところスムーズと考える。

議員 看護師や保育士が不足しており、確保についてはどう考えるか。

課長 現段階では検討していない。

議員 病児、病後児保育が広域連携する方向での早期実現に向けて取り組むべきである。



早期実現を

温かく心ある施策を

町長 課題を見極め取り組んでいく

議員 移住・定住事業

は、新規・新築者への支援である。旧市街地への転入者を迎えるため支援拡充を図るべきではないか。

町長 転入者の住宅確保が大切である。「住」に重点をおいた施策としている。

議員 住宅についての補助だけではなく、IターンやUターンした子育て世帯への支援は。

町長 増築、リフォームした方への支援は実施している。新婚・子育て世帯に重点をおい

たものである。

議員 転入者への商品券や運動着等を配布するなど環境・条件整備が必要ではないか。

町長 当面は、現行の支援制度の活用状況を注視していく。

議員 保育所の0歳児から2歳児71人への完全無料化は。

町長 国の方針で10月から始まったばかりであり、考えていない。

議員 出生率は、現在1・1人であるが約10年後の目標値を1・22としている。安心して産み育てる環境整備を

すべきでは。

町長 支援策の中で講ずる必要がある。

議員 つばめの杜保育所に入所できず、つくし保育園6人、岩沼市や相馬市で5人が利用し、待機児童もいる。南保育所建設の進捗状況は。

町長 来年度当初予算編成まで方向性を示す。

議員 過疎地域自立促進事業計画では令和2年度まで建設予定となっている。なぜ進まないのか。

町長 最終調整の段階である。

議員 少子化対策、待機児童解消、移住・定住促進の条件整備を早急にするべきである。



議員 高子 岩佐

「避難文化」 確立への方策は

町長 国や県の動向に基づき実施する

議員 総合防災訓練を実施しているが、どのように分析しているか。

町長 訓練への参加者が増え、自助意識が向上し、目的は達成されている。

議員 今回の台風19号、低気圧による豪雨時の避難者は多くはないが、どのように捉えているか。

町長 様々な条件下で

も対応できるマニュアルを作成していく。

議員 災害に強い町づくりのため、中学生への防災士資格取得を推進しては。

町長 当町では、県で実施している防災士指導員を育成していく。

議員 幼少期の頃から研修・訓練が必要である。全国、世界へ目を向けた人材育成を図るべきである。



命を守る防災研修参加者

坂元地区への今後の定住促進対策は

町長 補助金の活用状況を見ながら進める



橋もと しんいち 議員

議員 坂元地区への子育て世代の定住促進・施策拡充を図る考えはないか。

町長 定住支援事業については、4月に移住・定住支援補助金に改め、新婚・子育て世代に重点をおくとともに、坂元地区への誘導を図るための加算金等を拡充した。

議員 坂元地区において、定住促進のための宅地化を考えると、言っていたが、その予定地については。

町長 新婚・子育て世代を意識した宅地として、新たな居住環境整備の在り方について検討中であり、内容を示

せる段階ではない。

議員 子育て世代の定住促進のために大切なことは、一時的な支援だけではなく、子育てしやすい環境を整え、一定の支援を長く続けることだと思いが。

町長 このような観点なり視点での検討、というようなことを提案していただきたい。

議員 保育施設の有無は、定住地を決める大きな条件になる。先延ばししている保育所建設の事業開始はいつなのか。

町長 令和2年度の当初予算編成までに一定の方向性を示す。

議員 「交流人口10万人」のように、将来の目標人口は高く設定するべきであり、考えれば答えが出るのではないか。

災害対応は万全か

町長 迅速な避難への情報提供に努める

議員 地震・豪雨時の避難経路、避難場所はどのように考えているか。

町長 総合防災訓練に参加している町民において、避難場所や安全な避難経路の確認を重ねていると認識している。

議員 町民への周知は徹底されているか。

町長 ハザードマップ等の活用による情報の共有に加え、防災訓練や各自主防炎会連絡会の研修会等の機会をとらえ、周知徹底していきたい。

議員 沿岸部にあった沼等が、震災後に埋め立てられてしまった。沿岸部に大きな調整池を整備する考えはないか。

町長 調整池は、大雨

時の対策として有効な施設であると認識している。しかし、現時点で十分な洪水調整機能が確認できない。被災

した際の、改良復旧の本格的な実現も含め、今後とも適切な排水対策に取り組んでいく。



大雨時の排水対策を

包括業務委託移行による影響は

町長 問題は生じないと考える

議員 臨時職員が実施している業務のうち包括的業務委託へ移行する業務について、実施後の住民へのサービス・待遇に影響は。

町長 公募型により一括して13の業務を委託の対象とし、現行サービス水準が維持できる業務体制、従業員の処遇や地元雇用に対する考え方等幅広い側面から確認しており、特段問題は生じないと考えている。

議員 放課後児童クラブについては、専門性が求められる事業だが、運営全体が業務委託となる。職員の配置基準等、町の意向が業者にどれだけ伝わっているか、不安、懸念がある。職員への事前説明、話し合いは。

課長 月1回の児童クラブの定例会でさまざまな質問に対し、回答している。

議員 職員の不安、懸念は一切心配することはないとの受け止めである。



えんどう たつゆき
遠藤 龍之 議員

よいか。
課長 不安がないよう進める。



包括的業務委託とは

地方公共団体が行政責任を果たすために、必要な監督権などを留保したうえで、その事務や運営等を民間企業、外部の団体及び個人などに委託すること

アンダーパスによる問題の対応は

町長 被害防止対策に万全を期す

議員 町道高瀬笠野線は工事着手以来、工法をアンダーパスとしたことに伴う、度々の工事変更、数度に渡っての水害による通行止めなど地域住民の生活に大きな影響を与えている。議会で指摘された対応などを示したうえで、今後の対策の中で、アンダーパス対策を明確に示すべきでは。

町長 東北地方農政局等と協議し、浚渫時に必要な管理道路を設ける。今後は冠水を最小限に留めるための堤防のかさ上げ等の要望や協議を進め、常日頃からの維持管理や被害防止対策に万全を期す。
議員 避難ルートを検討する必要があると約束しておくながら対応してこなかった理由は。

町長 避難ルート設置というのは難しい。
議員 全く取り組みをしてこなかった、約束

を守らなかったということ強調する。高瀬川の堤防かさ上げを国へ要望はしたのか。

町長 農政局等の現場協議の中で話をした。
議員 この約束も果たされていない。アンダーパスとしたことによつて起きていた様々な問題、これまで議会での約束が守られてこなかったという議会軽視、無視という町長の政治姿勢に問題があることを強く訴え、引き続き対策を求めていく。

その他の質問

子育て世代の負担軽減を図り、定住しやすい環境づくりをすすめるためにも学校給食費、保育所等副食費の完全無償化を

町の仕事をチエック

総務民生常任委員会 産建教育常任委員会

○町民バス

町民バス・デマンド型タクシーの運行状況等について調査を行なった。

意見

町民バス・デマンド型タクシーは町民が利用しやすいように便数や運行ルートの見直しを含め、

早急に改善すべきである。
デマンド型タクシーが、誰にでも簡単に利用しやすいこと、周知が必要である。



町民バス「ぐるりん号」

○放課後児童クラブ

(現地調査)

町内3カ所の児童クラブを視察し、それぞれの運営状況について現地調査を行なった。

○総合教育会議

総合教育会議の進め方について調査を行なった。

意見

町長は総合教育会議において議長の立場にあるが、これまでの小・中学校再編や新中

学校名決定時において町長としての意思表示を明確にすべきである。



坂元中学校

議会を傍聴してみませんか

どなたでも傍聴できます。【傍聴席25席】

本会議当日、傍聴券に住所・氏名を記入のうえ入室してください。また、退室時は傍聴券の返却をお願いします。

※傍聴券は入口に備えてあります。



議場

議会(本会議)をインターネットで視聴できます

本会議の様様をライブ映像と録画映像で配信しています。スマートフォンやタブレット端末でも視聴することが可能です。「山元町議会中継」で検索してください。



議会中継

議員の会議等出欠状況

令和元年10月1日～令和元年11月12日

出席：○ 欠席：欠（病気等）・公（公務） 員外：—

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
				岩佐哲也	渡邊千恵美	竹内和彦	岩佐孝子	伊藤卓悦	岩佐秀一	菊地康彦	大和晴美	遠藤龍之	高橋建夫	橋元伸一	青田和夫	阿部均
10	2	水	総務民生常任委員会	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—	○	—
	2	水	産建教育常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	○	—	—
	7	月	仙南・巨理地方町議会議長会 議長会議	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
	9	水	議会広報・広聴常任委員会	—	○	—	○	—	○	—	○	—	—	○	—	—
	18	金	議会広報・広聴常任委員会	—	○	—	○	—	○	—	○	—	—	○	—	—

令和元年11月13日～令和元年12月31日

出席：○ 欠席：欠（病気等）・公（公務） 員外：—

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
				伊藤卓悦	橋元伸一	岩佐秀一	大和晴美	渡邊千恵美	高橋眞理子	竹内和彦	遠藤龍之	岩佐孝子	阿部均	菊地康彦	高橋建夫	岩佐哲也
11	13	水	第3回議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15	金	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	—	—
	20	水	県町村議会議長会 広報研究会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	—	—
	21	木	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	22	金	巨理地方町議会議長会 臨時会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
	25	月	県町村議会議長会 臨時会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
	25	月	県知事意見交換会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
	26	火	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	—	—
12	3	火	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4	水	議会運営委員会	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	○	○	○
第4回議会定例会（12/6・10・11・13）				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6	金	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—
	12	木	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
	12	木	産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—
	19	木	産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—
	20	金	議会運営委員会	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	○	○	○
	23	月	仙南・巨理地方町議会議長会 議長会議	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○

議長交際費

区分	10月		11月		12月	
	金額(円)	内容	金額(円)	内容	金額(円)	内容
会費	5,000	仙南・巨理地方町議会議長会懇親会	20,000	県知事意見交換会 ほか1件	5,000	仙南・巨理地方町議会議長会歓送迎会
慶弔	27,500	仙南少年剣道練成大会 祝儀 ほか3件	3,000	J Aまつり 祝儀	3,361	農村青少年クラブ実績発表大会記念品
その他	0	—	0	—	0	—
合計	32,500		23,000		8,361	



伝統を受け継ぐ子どもたちと共に

坂元神楽保存会 代表 阿部 清

当保存会は、昭和40年中頃に伝統文化である「神楽」を再興するため当時青年団活動していた有志で結成しました。ルーツをたどり、丸森町大内の山伏の方々から指導を受け、現在でも交流が続いています。

東日本大震災後は、旧中浜小で取り組んでいた「神楽」(中浜神楽保存会で指導)を、その後、坂元小でも「子ども神楽」として取り組むこととなり、坂元・中浜神楽保存会が合同で指導しています。現在では、「子ども神楽」を学んだ子ども達が囃子方(はやしかた)や四方祓(しほうはらい)をマスターし、春祭り・夏祭りをはじめ各種行事に出演し一緒に活動しています。今後も、「子ども神楽」の指導を継続し、郷土芸能・伝統文化である「神楽」を次代へ引き継いでいきたいものです。

◆ ◆ ◆ お知らせ ◆ ◆ ◆

令和2年

第1回山元町議会定例会(予定)

会期：2月28日(金)～3月18日(水)

開会：午前10時

本会議：2月28日

3月3日・4日・6日・18日

(一般質問は、3月3日・4日です。)

町ホームページをご覧ください

山元町議会で **検索**

- 議会中継(録画配信)
- 会議録
- 議決結果
- 議員、委員会等名簿
- 会期日程
- 議会だより
- 決議

以上の内容を掲載しています。

編集デスク

新年おめでとうござ
います。議会も新体制
でスタートしています。

昨年10月の台風19号
等による豪雨は各地
に大きな被害をもた
らし、本町も総額約
6億4千万円もの被害
を受けました。今年
は大禍なく過ぎるこ
とを祈ります。

来年度は東日本大震
災からの復興期間、最
終年度となりますが、
残る課題の解決に向け、
議会も一丸となって取
り組んでまいります。

委員会も新しいメン
バーで「伝える」努力
を重ね、皆様に身近な
議会だよりをお届けし
ます。

本年もどうぞよろし
くお願い申し上げます。
(高橋 眞理子)

〈議会広報・広聴常任委員会〉

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 岩佐 孝子 |
| 副委員長 | 高橋眞理子 |
| 委員 | 伊藤 貞悦 |
| 委員 | 岩佐 秀一 |
| 委員 | 大和 晴美 |